

運 営 推 進 会 議 記 録

事業者名 名称：社会福祉法人 浦幌町社会福祉協議会
住所：十勝郡浦幌町字北町 8 丁目 1

事業所名 名称：通所介護センターうらほろ
住所：十勝郡浦幌町字北町 8 丁目 1
サービス種類：認知症対応型通所介護

日時 平成 30 年 3 月 7 日(水) 第 2 回 18:00～18:40

場所 浦幌町保健福祉センター 会議室

出席 地域住民代表 安藤 忠司様
斉藤 貴美子様

ケアプランセンターうらほろ

ケアマネジャー主任 唐澤 隆則

通所介護センターうらほろ管理者 佐藤 関子

通所介護センターうらほろ生活相談員 横田 道子

通所介護センターうらほろヘルパー 立花 容子

議題 ①挨拶

司会進行担当の横田生活相談員は、本日の会議に永澤事務局長、志賀地域包括センター所長、利用者様ご家族の欠席の報告、さらに今会議より、額瀨ヘルパー退職にて立花ヘルパーが出席することを報告する。

永澤事務局長欠席の為、佐藤管理者に挨拶を要請。佐藤管理者は本日の出席を謝し、本会議は平成 29 年 9 月の運営推進会議において出された課題報告及び、平成 29 年度事業報告並びに平成 30 年度事業計画を提案させていただき、ご審議をお願いしたいとして開会の挨拶とした。

②平成 29 年度事業報告

横田生活相談員より、平成 29 年度事業（年間行事）について、以下のように報告

1 月 新年会（昼食おせち料理、新年の抱負などを利用者様と語り合う）

2 月 節分（鬼の人形を作成し、利用者様に豆まきをしてもらった）

⑤報告事項

横田生活相談員は、平成 29 年 9 月 27 日に開催した運営推進委員会にてご意見・要望又はアンケートにて回答いただいた事を検討し、結果と改善点を報告した。

■意見・要望

- 1) 家族への連絡が、口頭のみだと忘れてしまう事もあるのでは？
連絡帳を利用してはどうか。家族も受診時、先生に聞かれたときデイサービスの様子も参考になるのではないかな？
- 2) 昼食メニューを夕食と重ならない様にしたいので教えて欲しい。
- 3) 今後この様な会議の中で、事故報告やヒヤリハット等検討してほしい
- 4) 取り上げて欲しい議題として～事故防止、感染症対策、認知症の方に対しての関わり方で大切にしている事

■改善

- 1) ご家族との連絡を確実にするため個別に連絡手帳を使用することにした。
(状況に応じて送迎時の口頭での報告、電話連絡は継続)
- 2) 希望のご家族にはメニューを書かせてもらう。
- 3) 職員間でヒヤリハットがあり、ミーティングにて検討
 - ①他の利用者の靴を間違えて履かせて帰宅させてしまった。
(原因) 送迎時、対応する職員が代わる場合もある為履物がいつもと違うと分からなくなる場合がある。
(改善点) 間違わない様に、靴に名札をつけることとした。
(結果) 名札が付いていることで間違えることがなくなった。
 - ②利用者がトイレの後何処へ戻って良いのか分からなくなり玄関前に行っていた。
(原因) 利用者が用を足している間、ゆっくり用を足してもらおうと思い、ヘルパーが 2～3 分ほどその場を離れてしまった。
(改善点) 利用者の対応について、職員間で再確認し、誘導、見守りを徹底する。
(結果) 利用者に不安な思いをさせる事なく、落ち着いて過ごしていただけるようになった。

4) 感染症対策

- ・表情、顔色、手消毒、バイタルチェック、トイレ、入浴時に皮膚の観察を行っている。
- ・衛生管理

・・・とても難しいことですが、東日本大震災の時、保育園の園児を帰宅させたことにより津波に巻き込まれたということもありました。

他にも以前にあった障がい者施設の殺人事件や札幌のNPO施設の火災等があったため、今後マニュアルのようなものは作成すべきだと考えております。

《佐藤管理者》

・・・今後に向けて検討させていただきます。

《地域住民代表 安藤様》

・・・厚内は20メートルくらいの津波を想定して階段を付けてそこに避難するようになっているし、十勝太の場合はもはん牧場の方へ避難することになっているはず。

地震だけではなく、数年前にあった台風の時は、浦幌でも避難した人がいたわけだからそのような地域から利用している方もいたらそれなりの対策は考えた方がいいのでは？

《横田生活相談員》

・・・今後緊急時マニュアル作成を検討させていただきます。

《地域住民 安藤様》

・・・大きな災害があった場合は、役場に災害対策本部が設置されるから、このようなことがおきた場合は福祉課と協議していったらいいのではないのでしょうか。

《佐藤管理者と横田生活相談委員》

・・・今後緊急時対策を、検討していきたいと思います。

《唐澤ケアマネジャー》

・・・今後マニュアル等作成した際はご確認いただき、足りない所は補足していただきたいと思います。

⑧閉会の挨拶

横田生活相談員は本日の出席を謝し、閉会とした。

佐藤管理者は本日の出席を謝し、運営推進会議は1年に2回とのことで、次回は9月か10月に開催したいことを伝えた。

第2回 運営推進会議

日時 平成30年3月7日(水)
18:00～

場所 保健福祉センター会議室

通所介護センターうらほろ

2 平成29年度事業報告 (年間行事)

1月	新年会	昼食時におせちを食べながら、一年の抱負やお正月はどのように過ごしたか等、会話を持ちながらの新年会。
2月	節分	鬼の人形を作り、利用者に人形めがけて、豆をぶつけてもらい昼食は恵方巻を食べ、楽しみました。
3月	ひな祭り	雛人形を飾り、昼食には散らし寿司を食べ、おやつ時に甘酒とあられを食べ、ひな祭りをしました。
5月	花見	送迎時につつじや桜の多く咲いている所をドライブしました。
6月	日帰旅行 (留真温泉)	男性は男性スタッフ、女性は女性スタッフが1対1で付かせてもらい、入浴しました。入浴後、昼食に好きな物を注文し、食べてもらいました
	外食	うらほろ亭で、ワンプレートの特別メニューを作ってもらい、食べました。いつもと違う場所で食べるのも楽しそうで、笑顔が多く見られていました。
10月	避難訓練	保健センターの避難訓練に参加する。サイレンが鳴ったらみんなで一斉に避難する、訓練をさせてもらいました。
12月	クリスマス会	クリスマスツリーを飾り、昼食に特別メニューを用意し、おやつには手作りのケーキを食べました。
*誕生会		誕生者の好きなメニューを昼食に作らせてもらい、ジュースで乾杯し、歌、ご馳走でお祝いさせてもらいました。

3 平成30年度事業計画

・方針

- 1) 利用者の方が安心して過ごすことができるよう常に共感的に見守り信頼関係を築いていきます。
- 2) 慣れあいにならず、人生の先輩から謙虚な姿勢で学んでいくことを大切にしていきます。
- 3) 職員同士で介護について常に検討して、事業所内にて勉強会を開催して介護技術や認知症に関する知識を研鑽していきます。

・行事予定

- | | | |
|-----|--------|-----|
| 1月 | お正月 | |
| 2月 | 節分 | |
| 3月 | ひな祭り | |
| 5月 | お花見 | |
| 6月 | 温泉 | |
| 9月 | 敬老会 | |
| 10月 | 避難訓練 | |
| 12月 | クリスマス会 | 忘年会 |

*お誕生会（随時）

★年4回 勉強会を開催します。

4 報告事項

前回会議からの改善点

平成29年9月27日(水)に開催しました運営推進会議にてご意見・要望・又はアンケートの回答をいただきました。

その後の検討した結果と改善点についてご報告いたします。

■意見、要望

1) 家族への連絡が、口頭のみだと忘れてしまう事もあるのでは？

連絡帳を利用してはどうか。

家族も受診時、先生に聞かれた時デイサービスの様子も参考になるのではないか

2) 昼食のメニューを夕食と重ならない様にしたいのでおしえてほしい。

3) 今後この様な会議の中で、事故報告やヒヤリハット等、検討してほしい。

4) 取り上げてほしい議題・・・事故防止、感染症対策

認知症の方に対しての関わり方で大切にしている事

★改善

1) ご家族との連絡を確実にするために個別に連絡手帳を使用することにしました。

＜状況によっては、送迎時に口頭で伝えたり、電話連絡は継続していきます。＞

2) 希望の方には連絡帳に書かせてもらいます。

3) 職員でヒヤリハットがあり、ミーティングにて検討する。

①他の利用者の靴を間違えて履かせて帰らせてしまった。

〈原因〉送迎時、対応する職員が替わる場合もある為、履物がいつもと違うとわからなくなることもある。

〈改善〉間違いがない様に、靴に名前を付けさせてもらう事にしました。

〈結果〉名前が付いている事で、間違える事が無くなった。

②利用者がトイレの後、どこへ戻ってよいかわからなくなり玄関前に行っていた。

〈原因〉利用者が用を足している間、いつもは傍で見守りしていたが、その日は落ち着かれていたこともあり、ゆっくり用を足してもらおうと思い、2～3分程度その場を離れてしまった。

〈改善〉利用者に対しての対応について、職員間で再確認し、誘導、見守りを徹底する。

〈結果〉利用者に不安な思いをさせることなく、落ち着いて過ごしていただけるようになった。

4) 感染症対策

- ・ 表情、顔色、手消毒、バイタルチェック、皮膚の観察
- ・ 衛生管理
嘔吐物・排泄物の処理・血液・分泌物の処理の徹底
- ・ 感染症対策を強化していくため、いつでも把握できるように北海道介護施設集団指導マニュアルをデイルームに設置しておいて職員・パートさんにも周知し対応できるようにしていきます。

要介護度別利用者の状況

サービス種類: 認知症対応型通所介護

グループ : 全て

単位: 人

月	区分	経過的要介護	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	実人員		4	3	7	4		18
	延利用数	()	(28)	(22)	(66)	(23)	()	(139)
5月	実人員		5	3	7	4		19
	延利用数	()	(24)	(30)	(58)	(25)	()	(137)
6月	実人員		5	4	7	3	1	20
	延利用数	()	(33)	(35)	(54)	(21)	(14)	(157)
7月	実人員		5	4	6	3	1	19
	延利用数	()	(36)	(38)	(46)	(23)	(12)	(155)
8月	実人員		4	4	6	3	1	18
	延利用数	()	(31)	(41)	(48)	(22)	(15)	(157)
9月	実人員		5	4	5	4	1	19
	延利用数	()	(31)	(37)	(28)	(29)	(10)	(135)
10月	実人員		5	4	5	4	1	19
	延利用数	()	(33)	(41)	(28)	(24)	(12)	(138)
11月	実人員		6	5	5	2	1	19
	延利用数	()	(29)	(52)	(34)	(8)	(9)	(132)
12月	実人員		6	5	6	1	1	19
	延利用数	()	(27)	(51)	(31)	(2)	(3)	(114)
1月	実人員		6	4	3			13
	延利用数	()	(32)	(33)	(18)	()	()	(83)
2月	実人員							
	延利用数	()	()	()	()	()	()	()
3月	実人員							
	延利用数	()	()	()	()	()	()	()
計	実人員		51	40	57	28	7	183
	延利用数	()	(304)	(380)	(411)	(177)	(75)	(1347)